

令和 6 年度事業報告書 (2024 年度)

社会福祉法人ももやま福祉会

目 次

はじめに	1
1. 生活介護事業（全体）	5
2. アトリエ班【向島・栂辻】	5
3. 漉き班	7
4. 相談支援事業報告	9
5. 居宅介護事業	10
6. 共同生活援助事業	11
7. 自治会	11
8. ボランティア	12
9. 防災、安全対策	13
10. 手づくり市	14
11. 理事会・評議員会・各種委員会開催状況	15

はじめに

◇ 理念

「人として豊かに生きる」

◇ 令和 6 年度基本方針からの振り返り

1) 事業について

今年度については、事業内容や職員配置の見直しによる加算の取得や新たなサービスの提供による収入増があり、大幅な収支の改善ができました。

向島 1 階の空調設備の経年劣化による新規設備の入れ替えという突発的な工事もありましたが、長年の課題であった施設整備積立も実施できました。

向島の建物も建設から 20 年がたち、建物全体の老朽化がすすみ、今後は建物の建て替えのために施設整備積立をコンスタントに実施していかないといけないという課題もありますが、まずはその第一歩を実現できました。

それぞれの事業については、共同生活援助のご利用者の家族の高齢化など諸処の事情があり、ご自宅に一時帰宅が難しい方が増えてきました。今年度は、週末も含めた支援体制を続けており、年末年始についてもシフト調整し支援を続けています。また、定期的に金曜日まで開所する週を作り、開所日数を増やしています。

居宅支援事業についてはご利用者の加齢による身体機能の低下により、日常の支援について、よりきめ細かな対応が必要になってきており、通院支援も含めた支援量が増えてきております。

生活介護については、下請け先の廃業により、プログラムや利用者工賃の見直しが必要となりましたが、新しい下請け先が見つかり、新しい作業内容で取り組みを始めました。今までより難しい工程で、品質や納期を厳しく求められていますが、漉き班ご利用者、職員を中心にがんばり、年度を通じて継続して取り組むことができました。

2) 設備メンテナンスについて

8 月に向島 1 階の空調設備が故障しました。以前より老朽化による故障が続いていましたが、メーカーの部品供給も終了しており、応急処置もできない故障だったため、設備の入れ替えとなりました。酷暑の季節ではありましたが、残存の空調設備を使い、設備業者の方の迅速な交換工事もあり大きな影響がでるまでには至りませんでした。

3) 人材の確保について

今年度は新卒者として4月に正職員2名を採用しました。一方、残念ながら今年度末にて正職員で退職者がありました。

共同生活援助の学生アルバイトについては、毎年、卒業による入れ替えがあり安定確保に苦勞していますが、今年度は現在、働いていただいている学生からの紹介や資格取得のための現場実習に來た学生に声をかけてなんとか確保を続けています。

また、運転手の求人を行い、安全な運行と職員負担の解消のために朝の送迎運転手1名、木曜日朝送迎のみの運転手1名の確保を行っています。

新しい取り組みとして12月よりサイトでの中途採用向けの広告、2025年度卒業の新卒者向けの広告を行い、広く採用を呼びかけています。

職員の処遇について、国の処遇改善の取り組みによる改善に加え、収支の改善による賞与の支給率のアップを行い、ご利用者へのサービス提供のモチベーションアップと魅力的な職場による定着率のアップをはかりました。

4) 危機管理

事業所での避難訓練に加え、指定避難場所である向島南小学校までの歩行避難訓練を行いました。また、職員への防災研修としてスプリンクラーの位置や挙動の確認、食中毒防止の研修を行いました。

身体の状態の変化や身体能力が落ちてきているご利用者も増えてきていますので、転倒事故など事故防止についてより注意を払う必要があります。

事故報告書 10件（うち車両事故7件） ひやりはっと2件

苦情受付 1件

（令和5年度 事故報告5件（うち交通事故4件）、ひやりはっと0件
苦情受付1件）

5) 健康

コロナウィルス感染症については、陽性者が出た際には活動場所を分けたり、検温などの体調確認を行ったりと感染拡大を防ぐ対応は続ける必要がありましたが、統一した指針で判断することが難しく、その時の状況に合わせて対応することが続いています。さらに、今年度はインフルエンザの流行もあり感染症の対応には苦慮しました。

また、加齢による身体機能の低下により、体調不良や入院に至るケースも増えており、支援についてより注意が必要な方が増えています。また、通院支援についても回数が増えています。

共同生活援助の利用者については、日頃の支援に加え、体調不良時の通

院や日中対応、入退院時などの対応で、職員体制が厳しいときでも対応が必要とされるタイミングがありました。

引き続き看護職員による毎週1回の健康チェックと月1回の体重測定は行っており、ご利用者の突然の体調変化については、協力医療機関である西七条診療所に相談、診療を行っており、年に1回の健康診断の実施、インフルエンザ予防接種と合わせて嘱託医との連携を図っています。

6) 給食

ワーカーズコープに業務委託し、バランスの良い献立を厨房での調理により出来立てを提供しています。物価の高騰と最低賃金の大幅な上昇により、委託費の見直しが行われました。今後も上昇していくことが予想されますが、食の安心安全な提供を委託先と協力して実施いたします。

7) 交通安全管理

運転については、運転免許を持っていない職員も増えてきており、運転が苦手であったり不慣れな職員が運転することもあり、車両の運行については難しくなっています。幸い、今年度はご利用者の怪我を伴う車両事故は発生しませんでした。特に送迎については、今後は職員だけで運行していくことは難しく、運転手の確保が必要となってきました。

8) 行事・施設外活動

ボランティア団体である京都トップスワイズメンズクラブと向島福音自由教会の協力を受けて、交流会、クリスマス会を行いました。

11月の手作り市については、コロナ禍以来、久しぶりに地域の方にもお知らせをして、販売ブースでの販売に加えて、関係機関のご協力をいただき模擬店で飲食物の提供を行いました。

5月 交流会（京都トップスワイズメンズクラブ）

11月 手づくり市

12月 クリスマス会（向島福音自由教会）

トップスワイズメンズクラブとの交流会



クリスマス会（向島福音教会の皆様）



9) 地域、学校との連携

ボランティア団体として交流のある京都トップスワイズメンズクラブとは、手づくり市でもご協力いただき、模擬店をご担当いただきました。

実習受け入れとしては、京都女子大学、京都光華女子大学から社会福祉援助実習、保育実習の実習生の受け入れを行っており、今年度も受け入れを行うことができました。

10) 広報活動

ホームページの整備については現存のホームページの更新、修正追加を行っており、ご利用者の活動の様子も見ていただけるものになっています。ゆくゆくはリニューアルも検討しています。

11) 後援会

6月に総会と共に開催される後援会学習会として今回はご利用者家族から今までの子育ての体験を伺う機会としました。また、施設整備積立金へのご協力を保護者の方に呼びかけ、多くの方にご賛同いただいております。

1. 生活介護事業（全体）

◇ 利用者状況（表の数字は全て（人））（2025年3月）

生活介護事業

年齢	10	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	合計
男	0	5	4	3	0	6	4	5	1	1	0	29
女	0	1	1	0	0	1	3	1	0	0	0	7
合計	0	6	5	3	0	7	7	6	1	1	0	36

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	2	5	7	15	29
女性	0	0	0	1	3	3	7
合計	0	0	2	6	10	18	36

契約日数/週	1	2	3	4	5
人数	1	4	2	0	29

開所日数 254日 のべ利用者数 7751人 利用率 76%

2. アトリエ班【向島・柳辻】

利用状況

利用者：18名 男性：16名 女性：2名（向島アトリエ：11名 柳辻：7名）
年度内に2名退所されました

職員体制

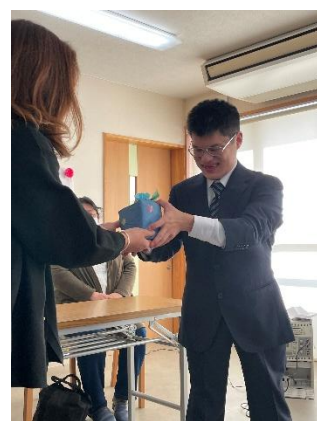
正職員：7名（内 男7） 非常勤職員：3名（内 男性2 女性1 週5：2名 週4：1名）

◇ 振り返り 向島アトリエ班

・昨年までに続き、和紙加工の作業や歩行活動を通じて日々身体機能の訓練を行いました。そんな活動の中、ご利用者1名の成人の日を祝い1月15日、ご家族に見守って頂く中、班内で成人式を行いました。いつもと違う正装で緊張した面持ちと、はにかんだ笑顔でなかまや職員の拍手を受け通所開始時より大人になった素敵な姿を見せてくれています。

・ただ、ここ数年で身体機能については加齢に伴い機能低下が見られる方も増えて

いる現状もある中で、特に歩行に関しては力を入れて、個別のニーズや状態を把握した上で、場所や支援方法などを個々の特性に合わせて変更して提供し、元気に、楽しい日々を過ごしていただけるよう１日１日を大事に支援させて頂いています。



◇ 振り返り アトリエ班枷辻



- ・ 6月からの体験利用を経て7月度より新たな利用者1名が加わり、枷辻での日中生活介護利用者は7名になりました。
- ・ 利用者の入院やコロナウィルス感染もあり、日頃から変化や万一の場合への準備の大切さを実感しました。

- ・ 日中活動では、牛乳パックを利用したコースター作りやアルミ缶つぶしの作業を中心にとりくみました。材料確保や販売数から作業機会は限られました。今後、新たな作業内容を検討する必要もあります。
- ・ 近隣公園などへ出かけて歩行をおこない、定期的に体を動かす機会をつくりました。
- ・ 祝日開所日を利用した外出企画をおこないました（10月・滋賀マキノ方面、3月・大津湖西方面）。また、「コンサートの集い」（2月）で生の演奏にふれる機会を持ちました。



3. 漉き班

◇ 利用者

利用者 17 名（内：男性 14 名 女性 5 名）

年度内に男性 2 名がそれぞれ柳辻班、アトリエ班に移動されました

◇ 職員体制

職員：3 名（内：男性 2 名 女性 1 名）非常勤職員：5 名（内：男性 2 名 女性 3 名 週 5 勤務 3 名 週 3 勤務 2 名）

◇ 班方針

日々落ち着いて活動に入れるように心がける
皆が作業に取り組めるように内容を考慮する
作業に関わる時間を増やし取り組む

▽ 作業（下請け、和紙製品）

今まで取り組んでいた下請け先が廃業されるという事で次の下請け先を、探し検討から入りました。6月ぐらいに下請け先が決まり、6月からは以前から関わっていた所と2か所の下請け先を併用する事で安定して下請け作業に取り組む事が出来ました。新しい下請け先の作業も皆何らかの形で参加する事が出来ています。又下請けの忙しくない時や作業が難しい利用者さんも和紙製品の作成をする事で皆が作業に関わる事が出来ています。





◇ 振り返り

作業面に関しては年間を通して作業に取り組む事が出来ました。また、作業に関わる際に環境や作業内容などを配慮する事で皆が作業に関われるように心がけました。今年度は年度途中で2名の方が班の移動がありましたが、一年を振り返り大きなけがや事故なくご利用者が活動に参加できた事は良かったと思います。次年度は、作業以外の活動にも取り組んでいき、大きな事故等を未然に防いで行ける様に職員間での連絡、情報を密にして取り組んでいけたらと考えています。

4. 相談支援事業報告

◇ 実績

月	その他	月	その他
4	計画 2 名、モニタリング 8 名	10	計画 3 名、モニタリング 8 名
5	計画 1 名、モニタリング 8 名	11	計画 0 名、モニタリング 5 名
6	計画 4 名、モニタリング 5 名	12	計画 5 名、モニタリング 6 名

7	計画 5 名、モニタリング 6 名	1	計画 2 名、モニタリング 7 名
8	計画 2 名、モニタリング 6 名	2	計画 5 名、モニタリング 9 名
9	計画 3 名、モニタリング 8 名	3	計画 1 名、モニタリング 10 名
		合 計	計画 33 名、モニタリング 86 名 総件数 119 名

利用状況

昨年度から生活介護事業を退所され、他法人の GH に入所・生活介護の退所をされた方がおられ、現在の相談支援事業利用者数が総数 31 名と減少傾向になっています。急な本人・保護者の入院や、サービスの変更・調整があり、計画の作成よりも、他施設や各関係期間との調整連絡がかなり多い状況になって来ています。サービス等利用計画・モニタリングの作成だけではなく形には見えない所での仕事が多く利用者・家族にとって必要な存在になったかと思います。

昨年度との対比

結果総件数は昨年より-23 名になり 142 件となった。

令和 5 年度	計画 40 名 モニタリング 102 名 総件数 142 名
昨年度対比	計画 7 名減、モニタリング 16 名減 総件数 23 名減

5. 居宅介護事業

利用者状況

契約者数 26 名（令和 7 年 3 月現在）

職員体制 5 名（うち正規職員 4 名、非常勤職員 1 名）

◇ 振り返り

今年度もグループホームの支援を中心に、週末や通院等介助を実施しました。利用者の家族の入院や、施設利用に伴い、必要に応じ、共同実践の利用も行い、利用者一人の生活をサポートする支援も実施しました。

6. 共同生活援助事業

利用者状況・・・契約者数 14 名（令和 7 年 3 月末現在）

職員体制・・・18 名（内正規職員 6 名、非常勤職員 12 名）

◇ 振り返り

今年度、枷辻ホームに 7 月から利用者の家庭状況の変化から、利用者 1 名の受け入れを行い、7 名から 8 名に増員しました。利用者や家族状況変化に合わせ、年末年始も帰省出来ない方の支援も実施しました。枷辻ホームでは職員体制を調整し、2 月の第 2 週目のみ土曜日までの開所を実施しました。外出支援等、他事業所とも連携しながら、利用者の地域生活をサポートする取り組みを実施しました。しかし今年度醍醐グループホームにて利用者 1 名が退所する事となりました。

◇ 短期入所事業

利用者状況・・・契約者数 13 名（令和 7 年 3 月末）

◇ 振り返り

今年度も短期入所の利用頻度は高く、緊急対応で週末の受入れも行い、利用者が地域での生活が継続できるように支援を行いました。また 1 月から向島でのシュートステイも再開し、より多くのニーズに対応できるように努めました。

7. 自治会

今年度も、農業体験や清掃活動を行いました。収穫したにんにくは手づくり市で販売しました。

◇ 農業体験（にんにく収穫）



◇ 送迎車掃除



◇ おつかれさん会（自治会役員が集まり、ぐんぐんハウスからの感謝状を受け取りました。）



8. ボランティア

手作り市（11月4日）

文教大学の地域連携プロジェクトを通じ、学生ボランティアを受け入れた



9. 防災、安全対策

◇ 避難訓練、防災訓練

年 2 回の避難訓練、防災訓練を行いました。(9 月 25 日 3 月 11 日)

● 避難訓練、元向島南小学校までの徒歩での避難訓練



10. 手づくり市

◇ 目的

買い物をする体験から社会性をやしなう。
 地域の人々にぐんぐんハウスの活動をしてもらう。
 他施設にも参加、出店してもらい、互いの交流を深める。
 売上をあげ、工賃向上につなげる。

◇ 実施日

日付	売上	形態
6月	148,680	カタログ販売
9月	86,500	カタログ販売
11月3日	146,450	出店販売

◇ 協力団体（敬称略）

カタログ販売（6月・9月・11月3日）

京都市だいが学園 伏見ふれあい工房 成望館 すぎなハウス エルファ共同作業所 城陽作業所

出店販売（11月3日）

京都市だいが学園 ももやま福祉会後援会 伏見ふれあい工房 京都トップスワイズメンズクラブ 成望館 西寺育成苑 すぎなハウス 山科工房 エルファ共同作業所 たこ仙人 城陽作業所 京都いたはし学園

◇ 振り返り

- ・長いあいだ、コロナ禍のため、出店対面方式、食事を含めての開催ができず、久しぶりの開催出会ったが、事故なく終えられた。
- ・前々からの交流があった、トップスさんや他施設にも来ていただくことができ、利用者さんも楽しめていた。
- ・カタログ販売では、ぐんぐんハウスの新商品開発物品を販売でき、保護者にも好評であった。



11. 理事会・評議員会・各種委員会開催状況

◇ 理事会

	開催日	主な決議事項
第1回	令和6年6月4日	・ 令和5年度 事業報告案 ・ 令和5年度 決算及び監事監査報告について ・ 令和6年度 第1回評議員会の開催について
第2回	令和6年9月26日	・ 令和6年度事業補正予算案について ・ 向島1階空調設備整備について ・ 令和6年度第2回評議員会開催について
第3回	令和7年3月4日	・ 令和7年度事業計画案について ・ 令和6年度第2次補正予算案について ・ 令和7年度予算案 ・ 令和6年度 第3回評議員会の開催について

◇ 評議員会

	開催日	主な決議事項
第1回	令和5年6月25日	・ 令和5年度 事業報告案について ・ 令和5年度 決算及び監事監査報告について
第2回	令和6年10月8日	・ 令和6年度事業補正予算案について ・ 向島1階空調設備整備について
第2回	令和7年3月26日	・ 令和7年度事業計画案について ・ 令和6年度第2次補正予算案について ・ 令和7年度予算案について